

ベルナール・ジロドー監督作品 UN FILM DE BERNARD GIRAUDEAU

川のうつろい

LES CAPRICES D'UN FLEUVE

ベルナール・ジロドー (Bernard Giraudeau) アイサトゥ・ソー (Aïssatou Sow) リシャール・ボーランジェ (Richard Bohringer) フランス・ゾブダ (France Zobda)
アンナ・ガリエナ (Anna Galiena) ティエリー・フレモン (Thierry Frémont) ビエール・アルディティ (Pierre Arditi) ランベール・ウイilson (Lambert Wilson)

脚本・台詞: ベルナール・ジロドー + ジャン＝ルイ・ベルトウセリ + シャンタル・ヴィルポントウ＝シャステル / 制作: ジャン＝フランソワ・ルブティ 撮影: ジャン＝マリー・ドルージュ
録音: ドミニク・ルヴェール + エリック・テイゼラン / 美術: ヤン・アルロー + ベルトラン・レルミニエ 衣装: シルヴィー・ドゥ・セゴンザック + ウム・シー
編集: アニック・パリー 音楽: ルネ＝マルク・ピニ (サウンドトラックCD / ビクター・エンターテインメント)

UNE COPRODUCTION LE STUDIO CANAL+, FLACH FILM, LES FILM DE LA SAGA, FRANCE 2 CINÉMA,
JÜRGEN HAASE PROVOBIS GMBH, CHCCHI GORI GRUPÉ TIGER CINEMATOGRAFICA S. R. L.
AVEC LA PARTICIPATION DE CANAL+, STUDIO IMAGES, CENTRE NATIONAL DE LA CINÉMATOGRAPHIE ET
LE SOUTIEN DU FONDS EURIMAGES CONSEIL DE L'EUROPE / REMERCIEMENT PARTICULIER IHSEKAT AKOORIH.

ここには何もない、あるのは愛だけ。

どこまでも果てない黄色い大地。うたるとような熱気と、かすかな風が吹き上げる砂塵。
ここは地の果てアフリカ。男はかの地で真実の愛を知った……。

designed by yonemura design office

シネマパブリジャン第一回配給作品 提供: 関西テレビ放送

[1995年フランス映画/35mm/1:1.85ヴィスタ・サイズ/カラー/ドルビーステレオ/7巻/3,294m/1時間50分]

PARISIÉTÉ

フランス映画界きっての美男俳優が紡ぐ、
壮大な映像叙事詩。

アフリカ——どこまでも果てなく続く黄色い大地。うだるような熱気と、かすかな風が吹き上げる砂塵。そして大海のごとき水平線遙か彼方の大河ニジュール。砂を含んで川面を黄土の色に染め、決して人の心を寄せつけぬ冷酷さを装う。人間は、その“きまぐれな大河の流れ (Les caprices d'un fleuve)” に身をゆだねる小舟でしかない。故郷を遠く離れたフランス人貴族が、その小舟に身を任せ、激動の歴史に心をゆだね、やがてたどり着いたのは、ひとりの黒人少女との真実の愛だった。フランス革命前夜、18世紀末のアフリカを舞台に、『ヘカテ』『リディキュール』など、退廃の香りを身にまとう美男俳優ベルナル・ジロドーが、30年にも及ぶ自身のアフリカへの憧憬の想いを、壮大なスケールで映画化したのがこの『川のうつろい』である。



豪華な配役。

涙誘う無名の少女アイサトゥ・ソーの可憐な魅力。監督・脚本・主演をこなすベルナル・ジロドーをサポートすべく、集まった俳優たちは豪華の一語に尽きる。ジャン=フランソワの恋の行く末を、彼の傍らでそっと見守る中尉を、リシャール・ポーランジェが好演。また、伯爵夫人でありながら、主人公との許されぬ愛に身をやつす薄幸の女性を演じるのは、『髪結いの亭主』のアンナ・ガリエナ。その他にも、『女優マルキーズ』のランベール・ウィルソン、『男と女/嘘つきな関係』のピエール・アルディティらがゲスト出演している。そして主役のアメリーを演じるのは、この映画のために大抜擢された美少女アイサトゥ・ソー。その経歴については秘密のベールに包まれているが、透明感あふれる可憐な魅力は、この映画のラスト・シーンをいっそう感動的なものになっている。

ジロドーは抱えきれないほどのイメージと魂を、熱意と忍耐、時には怒りをもって私たちに伝える。それは明確で力強く、繊細でさえある。[フィガロ誌]

人生はさながら、うつろいやすい川のように……。これは歴史の波に翻弄された人々が奏でる、哀しい愛の旋律。誇り高きフランス人貴族ジャン=フランソワは、愛した女性を巡っての名譽の決闘で時の国王ルイ16世の盟友を殺害し、国外追放も同然に、ニジュール川沿いの植民地に総督として赴くことになった。愛人をフランスに残し、生きる術を失ったかのような彼だったが、異文化での体験は刺激に満ち、やがて無知だった自分を顧みるようになる。それは現地の国王から捧げられた奴隷少女アメリーとの出会いによってであった。最初は父としてアメリーに教育を施していくが、彼女が成長していく過程で、彼は彼女に深い愛を捧げるようになる。しかし時代はフランス革命の直前。激動の歴史の波は、嫌が上にも二人の未来に重くのしかかってくる。



寛大。ジロドーは間違いなくそのことについて語っている。[ル・モンド紙]

繊細で美しい映像は、砂漠の黄土の質感まで現わす。[スタジオ誌]

優雅な貴族生活からアフリカ、ニジュールへ。
眼を奪う圧倒的な映像美。

宮廷での絢爛豪華な衣装と美術。室内の撮影に贅を尽くす冒頭シーン。そして映画は一気にアフリカの雄大な大地へ。そこで私たちが見せられるものは、視覚を圧倒する映像美の世界。それに呼応するかのように、こはく色の肌を官能に染める美しい黒人女性たちの愛の囁きが、私たちを甘い眩惑の旅へと誘ってくれる。ベルナル・ジロドーは、観客の眼と耳を刺激し、誘惑するように愛撫する。



この非常に魅惑的な作品は、荘厳で大胆、暖かさを帯びた叙事詩であり、空想と官能のドラマである。[フィガロスコープ誌]

3月28日(土)感動のロードショー! (4/10まで)

前売鑑賞券好評発売中! 一般1,500円(当日一般1,800円の処)

※劇場窓口、チケットぴあ、ローソン、EST-1、ロイヤルギフト、心斎橋ごとうPGほか、市内主要プレイガイドにてお買い求め下さい。

※上映最終日は劇場までお問い合わせ下さい。 ※本編上映途中からの入場はご遠慮下さい。

アメリカ村BigStep 4F 06-282-1460

パラダイスシネマ

連日 11:45 2:00 4:15 6:30